

〈生成 AI を用いた探究協働会議の講師アンケート分析の結果〉

1. 探究活動の現状：皆さんの「強み」

☆会議を通じて、講師の方々は皆さんの姿勢を非常に高く評価していました。

- **主体的なチャレンジ精神**：「どうすればいいですか？」と聞くだけでなく、「こう考えてやってみたけれど、うまくいかなかった。どうすればいいか？」という、**自分の考えを持った上での相談**ができていました。
- **高い準備力と礼儀**：事前のスライド作成や共有、当日の設営や案内など、自分たちで会議を運営しようとする姿勢が素晴らしかったと絶賛されています。
- **テーマの面白さ**：自分の「好き」を突き詰めたり、中学校での学びをさらに深めたりと、**興味関心に基づいた多様で面白い着眼点**が揃っています。

2. 課題点：もっと良くするための「伸びしろ」

☆さらに探究を深めるために、以下の点が課題として挙げられています。

- **「調べ学習」で終わっていませんか？**：先行研究や似たような事例の調査がまだ足りないという指摘があります。過去にどんな研究があるかを知ること、自分の探究のオリジナリティが明確になります。
- **「目的」と「手段」の整理**：「アンケートをとること」や「イベントをすること」自体が目的になっていませんか？。「何を実現したいのか（ゴール）」を明確にし、そのために必要な検証項目を整理する必要があります。
- **スケジュールの見通し**：「いつまでに、何を終わらせるか」という計画がまだ甘いグループが見受けられます。特に対象者がいる調査やイベントは、早めの準備が欠かせません。
- **引用・参考文献の明記**：自分がどの情報を参考にしたのか、正しく記録・提示するルールを徹底しましょう。

3. 活動を進めていくうえでの1ポイントアドバイス

『夏休みは「自分たちの軸」を固め、一歩外へ踏み出そう！』

夏休みはまとまった時間が取れる絶好のチャンスです。まずは自分たちで「いつまでに何をやるか」のスケジュールを立てましょう。その上で、ネットや本での調査から一歩進み、実験や調査などの「実証フェーズ」に移行してみてください。もし壁にぶつかったら、一人で抱え込まずに「とにかく現状を誰かに話して」みてください。専門家や地域の人など、多様な分野の人に説明するだけで、自分の思考が整理され、新しい解決策が見えてくるはずです。

「高校生だからこそできること」に自信を持って、楽しみながら探究を深めていきましょう！

本日の活動：夏休みの活動計画書を作成しよう！

活動の目的：自由に活用できる高校2年生の夏休み期間を通して、自身の探究活動を客観的に見つめ直し、探究テーマに関する問いをより深く発展させることを目的とする。そのために、「いつまでに」「どこで」「誰と」「何をするか」を具体的に設定し、計画的かつ主体的に探究活動を進めることで、探究の質の向上を図る。

◎夏休み中に必ず行う活動2選

1. 論文や本を読み、テーマの内容について深める。

おすすめ使用ツール：①Google scholar ②Cinii ③本（図書館や書店）

注意黒ノートまたはスライドなどに、参考文献のURLや※1出典（※2AIやネット検索の情報は×）を必ず残す！

加えて、調べたデータやその過程、日付も残すこと。（黒ノートはみなさんの思考の足跡です！）

※1 出典の載せ方

「本」の場合：【著者名（刊行年）『書籍タイトル』出版社名】

「本の一部の章」の場合：【執筆者名（刊行年）「章タイトル」編者名『書籍タイトル』出版社名、掲載頁】

「雑誌・論文」の場合：【執筆者名（刊行年）「論文タイトル」『掲載誌名』巻（号）、掲載頁】

※2 AIの使用について

注意点(1)情報をうのみにしないこと。(2)画像や文章の出典の確認を怠らない。

(3)「どこに」「どのように」AIを使ったかを記録する。

2. 実際に体験する。（アクションの実施）

活動例① 現地調査／フィールドワーク

・・・外部イベントへの参加や施設へのインタビュー訪問を通したアクション

活動例② 実験 ・・・〈仮説の設定〉→〈対象の設定〉→〈比較・検討〉→〈数値の分析〉→〈数値の記録〉

➡夏休み明けの授業で、「夏休み活動報告会」を実施予定です。必ず黒ノートやスライドへの記録をしよう！

！必ず守って！

★1. 外部へのインタビュー調査やアンケート（校内も校外も）を行う際には、担当教員に確認をし、予備実験の実施も行うこと！（安易なインタビューやアンケートは実施しないこと！）

・・・内容について、「どういった経緯でそれを行うに至ったのか」「目的は何か」「結果をどういったことに繋げていきたいか」などを詳細に明記する。

★2. 事細かく黒ノートに記録（日付、事実と自分の考えを切り分けて書けると Good!）

1. 自分（たちの）探究テーマ

--

2. 自分（たちの）探究における RQ（リサーチクエスション）

--

3. 夏休みの活動計画書

日にち	活動内容（具体的に！）	活動の目的（どうしてするの？）
月 日 までに		
月 日 までに		
月 日 までに		
月 日 までに		

担当教員サイン欄→

★締め切り：7/10（金）中